

## ごみブックロウの ごみ講座



### 食品ロスを知らず

最近テレビなどでよく耳にするようになった「食品ロス」。「食品ロス」とは本来食べられるのに捨てられている食品のことを言います。

#### ◆日本全体

日本全体の食品ロスは家庭と飲食店やスーパーなどのお店から出るものを合わせて約600万トンの量が出ています(農林水産省2021年4月)。これは国民1人ひとりが毎日「茶碗1杯分のごはん」と同じ量(約130g)の食品ロスを出している計算です。

## ごみブックロウの ごみ講座



### 食品ロスを減らそう

皆さんは食品に付けられた2つの「期限」の違いを正しく理解できていますか。食品ロス削減の第一歩は、「賞味期限」「消費期限」の違いを知ることです。

賞味期限は、おいしく食べられる期間を示したものです。期限が過ぎたからといって、すぐに捨ててしまわなくても大丈夫。でも、なるべく早く食べ切るようにしたいですね。

消費期限は、安心して食べることができると示したものです。肉や魚、豆腐などの日持ちがしない食品に付けら

#### ◆舞鶴市

市では一昨年、統計資料のデータにするため、ごみ袋の中身の調査を行いました。その結果、家庭から出る可燃ごみのうち10割が食品ロスであることが分かりました。

食品ロスは減らすことのできるごみです。一度自分の生活を見直してみませんか。

#### 《生活環境課》

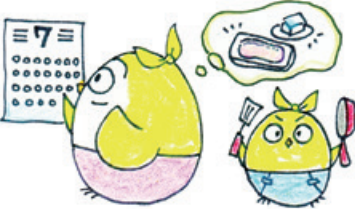


れています。これらの食品は期限までに食べ切るようにしましょう。

2つの期限の違いを理解して、無駄のない買い物をおこなえば、食品ロスが発生することを防げます。また、買い物に出掛ける前に

冷蔵庫の中を確認し、「今日買う物メモ」を作成すれば、必要な分だけ買う習慣も身に付きますよ。ぜひ取り組んでみてくださいね。

#### 《生活環境課》



## ごみブックロウのごみ講座

### ごみの最終処分

家庭から出るごみのうち、資源化できるものを除いたものは、最終的に「最終処分場」で埋め立て処理をしています。可燃ごみは焼却後灰にして、リサイクルできない不燃ごみは細かくして埋め立て処理をしています。また、資源ごみでも分別が不十分でリサイクルできない物なども「最終処分場」に運ばれ、埋め立て処理されています。

この「最終処分場」は、埋め立てる

## ごみブックロウの ごみ講座



### リサイクルプラザでの手選別

家庭から出るプラスチック容器包装類は、再生资源としてリサイクル業者へ引き渡していますが、その前に、リサイクルできない物を作業者が手作業で取り除いています。手選別作業では、汚れていてリサイクルできないものやプラスチック容器包装類以外の混入が見られ、カミソリやライターなどの危険物が含まれていることもあります。

プラスチック容器包装類は、プラスチック製品に再利用するための原料や

ことができる容量に限りがあり、いくらでも埋められるわけではありません。

一人ひとりが工夫して生活し、ごみを減らすことが重要です。しかし、それでも出てしまうごみは、しっかりと分別して資源化することで埋め立て量を減らすことができます。引き続きごみの減量・分別にご協力をお願いします。

#### 《生活環境課》



建設資材などに生まれ変わることができる貴重な資源です。その資源が無駄にならないように、また、手選別作業員の安全確保のためにも異物が混入しないよう、分別ルールの徹底をお願いします。

#### 《生活環境課》



▲手作業で分別している状況

## ごみブックロウの ごみ講座



### 小さな紙切れも大切な資源

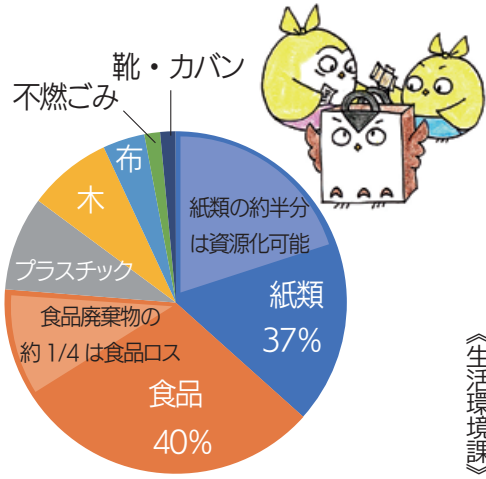
市が行ったごみの調査によると、可燃ごみとして捨てられている紙類の約半分は、資源として再利用できるものであることが分かりました。

メモ用紙やはがきなどの小さな紙切れは可燃ごみに混ぜてしまいがちですが、分別して不燃ごみの収集日に「その他の紙」として出すことで再利用することができます。

「ごみ箱の横に紙袋を置いておき、資源化できる紙は紙袋へ入れる」といっばいになった紙袋はそのまま紙ひもで縛り「その他の紙」として出す「などを心掛けることで紙の資源化量が増え、結果として可燃ごみの排出量も減らすことができます。

皆さんもできる分別からはじめてみましょう。

《生活環境課》



可燃ごみの内訳

## ごみブックロウの ごみ講座



### 水切りをしよう

同じ大きさのごみ袋でも、水分を多く含むごみがたくさん入ったごみ袋と、生ごみなどの水切りをして水分を少なくしたごみ袋では、どちらが少ないエネルギーでごみを処理することができますでしょうか。正解は水切りをして水分を少なくしたごみ袋です。水分量が減ることによって燃焼効率が上がります。少ないエネルギーでごみを処理することができます。また水切りをすることで、臭いの予防や虫の発生を防げるというメリットもあります。

ごみの中でも生ごみの水分量は8割ともいわれているため、洗う前に野菜の皮をむくことや、三角コーナーをぬれない場所で使用するなど工夫をすることで大幅に水分量を減らすことができます。

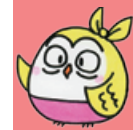
また、草や花なども水分を多く含んでいます。刈り終わった後、数日乾燥させることで水分量を減らすことにつながり、軽くなるので運搬も楽になります。

皆さんも水切りをぜひ実践してみてください。

《生活環境課》



## ごみブックロウの ごみ講座



### 身近なリユースの取り組み

皆さんはリユースを行っていますか。リユースとは、不要になったものをごみにせず、繰り返し使うことです。

以前はフリーマーケットやバザーで、不要なものを必要な人に販売するという取り組みが主なものでしたが、近年ではスマートフォンでさまざまなフリマアプリが登場し、リユースの取り組みがより多様で身近なものになっています。

自分には不要になったものも、必要と

している誰かがいるかもしれないという意識を持ち、簡単に処分するのではなく自分ができるリユースの方法を探してみましょう。

また、物を修理して長く使うことや、着なくなった服を違うものに作り替えるリメイクなどもリユースの取り組みです。リサイクルプラザでは、ごみとして出された家具などを修理し、再生品として展示・提供する取り組みや、子ども服を募集して必要な人に提供する取り組みも行っています。ぜひ活用ください。

《生活環境課》



### 正しいごみの出し方



地域の集積所に出されたごみのうち、分別ルールが守られていないものは収集できずにその場に残されます。昨年の4月～10月で、最も多かった可燃ごみの残り理由は「プラスチック容器などの不燃ごみの混入」で85%を占めました。

また、不燃ごみの取り残しでは、本来可燃ごみとして出す「靴」や「かばん」が埋立ごみとして出されるケースが目立ち

ました。

可燃ごみとして、草・木の袋(3袋まで)や衣類のみの袋も地域の集積所に出せるようになっているなど、以前と取り扱いが変わっているものがあります。改めて「ごみ分別ルールブック」を確認し、分別ルールを守ったごみの排出にご協力をお願いします。

《生活環境課》



## ごみブックロウの ごみ講座



### 海洋プラスチックごみ

近年、海洋プラスチックごみに注目が集まっています。

海洋プラスチックごみは直接海に捨てられたものではありません。ポイ捨てされたペットボトルや風で飛ばされたレジ袋などのごみも、風や雨によって川へ流され、最終的に海へたどりつき海洋プラスチックごみとなります。

こうしたごみは、紫外線や水などで劣化し、マイクロプラスチックと呼ばれる

5mm以下の小さな破片となり、海の生き物たちがエサと一緒に飲み込み体内に蓄積されてしまうため、生態系への影響が心配されています。

また、分解されない海洋プラスチックの重量は、2050年には海に住む魚の重量を超えるといわれています。

ポイ捨てをしないことはもちろんですが、屋外レジャーなどで出たごみをきちんと持ち帰るなど、一人ひとりの心掛けが大切です。私たちにとって身近な海を守るためにもできることから始めましょう。

《生活環境課》



## ごみブックロウの ごみ講座



### まだまだ減らせる舞鶴市のごみ

令和元年度の1人1日当たりのごみ排出量は、京都府平均が836gだったのに対し、舞鶴市は884gでした。また、府内で最も排出量が少ない市では680gでした。比較してみると舞鶴市のごみはまだ減量できるところがあるのではないのでしょうか。

一度に大幅に減らすことは難しいかもしれませんが、家庭から排出されているごみのうち、可燃ごみの約半分が資源ご

みであり、生ごみの約4割が食品ロスと呼ばれる「食べられるのに捨てられている食品類」であることを考えると、ほんの少しの心掛けでごみが減らせることに気付けます。お菓子の空き箱を資源ごみとして出すことで約15gの減量になります。また、食品を買い過ぎない・料理を作り過ぎない工夫で食品ロスも減らせます。

ごみ減量には、一人ひとりの取り組みが必要です。皆さんのご協力をお願いします。



《生活環境課》